

私は、今、社会的に言葉を通したコミュニケーションのとり方が問題となっていると考えています。それは、日常の会話の中で、悪気なくきつい言葉を使っている人がいるからです。このことに気を付けて言葉を使えば、社会がよりよいものになるのではないのでしょうか。また、あいさつのような前向きな言葉がけが増えれば、より社会を明るいものにできるのではないのでしょうか。

私は、言葉づかいで失敗したことがあります。それは、友達がいやがるような「きっしょ」「アホやな」という言葉を悪気なく言っていたことです。自分は、気軽な言葉として使っていましたが、相手にとっては気分の悪いものだと、相手の表情を見て分かるようになってきました。この言葉づかいの失敗から考えたことがあります。相手がいやがるような言葉を言う前に、一度、自分で考えてから言うことで、相手を困らせずに楽しく会話することができたのではないかということです。やはり、自分が言われていやなことだと分かっていたら、相手に言わなかったのではないかと思います。

反対に、言われて明るい気持ちになる言葉もあります。それは、地域の方や学校でのあいさつ運動の「おはようございます」という声かけです。あいさつをしあうことで、一日のスタートが明るくなると思っています。私も地域の方にあいさつしたり、あいさつをされたりすることで、とても明るい気持ちになっています。

友達がいやな思いをしてしまわないために、私がかんばりたいことは、使っている言葉がそれでよいのか自分で考えてから話すということです。これは、社会のみんながかんばりたいことでもあります。もう一つは、明るい日を送るため、お互いにあいさつをするということです。私は、代表委員として、学校のみなどとあいさつをする取り組みをこれからも続けたいと思っています。ネットやSNSの利用が広がる社会になる中でも、言葉づかいに気を付けて楽しく話し、あいさつをし、いっしょに明るい日々を送っていきませんか。